

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

政策名	交流・環境	25年度事業・施策評価結果			責任者	企画調整室 環境担当課長
施策名	うるおいと魅力のある港湾空間の形成	成果	コスト			
事務事業名	名古屋港景観基本計画の推進	継続	維持	維持	連絡先	052-654-7819
目的	対象(誰・何を)	臨港地区内に進出する官公庁や民間企業の建築物等			連携課	港営課
目的	意図(どういう状態にしたいか)	名古屋港とその周辺地域の景観形成を、ロマンと活気を基本理念に総合的、計画的に推進し、魅力ある港湾景観の形成を図ります。			事業期間	平成5年度～継続
概要	関係行政機関や事業者と連携して、景観アドバイザー制度の活用などにより、各種建築計画等と名古屋港景観基本計画及び名古屋港カラー計画との整合性を図り、魅力ある港湾景観の形成を推進します。			根拠法令等		
26年度の実施予定	企業からの臨港地区内行為届出の事前相談の際に、配布する名古屋港カラー計画マニュアル(第3版)を基に名古屋港景観基本計画および名古屋港カラー計画の説明を行い、景観形成への協力を要請します。また、景観アドバイザー制度を紹介しその活用を促進します。			実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
				関連シート		

2 DO(実施)

26年度に実施した内容・結果	名古屋港カラー計画との整合性について、34件の審査を行いました。企業からの臨港地区内行為届出の事前相談については、25件にに対し、景観形成への協力を要請しました。また、景観アドバイザー制度については、6件の相談を受け、全ての案件について整合性を確認しました。					
コスト	単位	24年度	25年度	26年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	111	56	84	84	
人件費	千円	3,748	2,891	2,907	3,182	
合計	千円	3,859	2,947	2,991	3,266	

3 CHECK(検証)

指標名	単位	24年度	25年度	26年度	中間目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
景観審査におけるカラー計画との整合性率(%)	%	—	—	100	目標値を上回る 目標値をやや下回る	100	臨港地区内の申請・届出等からカラー計画マニュアルとの整合性を審査したもののうち、カラー計画マニュアルと整合した率を指標とします。 (適合件数 30件/審査件数 34件 ×100=88%)	
	%	—	—	88				
(単年度管理型)	事業進捗状況(26年度)							
目標の達成度に対する評価(外部要因等を踏まえた)	臨港地区内の申請・届出等の内、カラー計画マニュアルと整合した率は、88%となっており、魅力ある港湾景観の形成に向け、着実に進捗しております。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	○	本組が関与し、どうしてもやらなければならない事業か？						
有効性	○	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか？						
効率性	○	事務事業は、施策達成に貢献するか？						
	○	期待どおりの成果が得られているか？						
	○	最小のコストとなっているか？						
	○	最小のコストにて取り組んでおります。						

4 ACTION(取組)

施策評価結果	27年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
	継続	維持	維持
	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		・魅力ある港湾景観の形成のため、継続して取り組む必要があるため。
	課題		27年度以降の取組
・名古屋市は景観条例を定めており、同市内では条例により必要な申請などを行う必要があり、事業者は市と本組の両方と調整しています。事業者の申請に対し、速やかな手続きが行えらるよう業務の効率化を図る必要があります。 ・進出事業者の中には企業イメージ色があり、施策達成が難しい場合があります。		名古屋市内については事業者の負担を減らすよう名古屋市と相談し、全体としては、企業からの臨港地区内行為届出の事前相談の際に、名古屋港カラー計画マニュアル(第3版)を配布し、名古屋港景観基本計画および名古屋港カラー計画の説明を行い、景観形成への協力を要請します。また、景観アドバイザー制度を紹介しその活用を促進します。	